



特集記事 1

## 神奈川県の地球温暖化対策

### 「クールネッサンス宣言」の推進

～ 今、神奈川から「地球復興」を ～

2008 年は、京都議定書の第一約束期間がスタートし、7月の北海道洞爺湖サミットでは、各国首脳により、「2050 年までに世界全体の温室効果ガス排出量を 50%削減する目標について、ビジョンを共有するとともに、気候変動枠組条約（UNFCCC）に基づく今後の国際交渉において採択することを求める」ことが合意されました。また、サミット後、国においては、2050 年までに二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）など温室効果ガスの排出量を現状から 60～80%削減するという長期目標達成のため、具体的な施策をまとめた「低炭素社会づくり行動計画」を閣議決定するなど、地球温暖化問題の解決に向け、世界が、そして日本が脱温暖化社会への転換に大きく動きだしました。

本県においては、京都議定書の温室効果ガス削減目標の達成に貢献するため、2006 年 6 月に改訂した「神奈川県地球温暖化対策地域推進計画」で「2010 年の県内の二酸化炭素総排出量を 1990 年の水準まで削減する」という目標を設定しましたが、2006 年の二酸化炭素排出量は 1990 年対比で 10.0%増となっており目標達成には温暖化対策のより一層の強化が必要となっております。

地球温暖化防止のためには、県民の皆さん一人ひとり、そして、企業や行政など各主体が問題の重要性について意識を高め、ライフスタイルや社会のシステムを転換していくことが不可欠です。

このような脱温暖化社会の実現に向けた取組を一層推進するため、「神奈川県地球温暖化対策推進条例（仮称）」の早期制定を目指していますが、地球温暖化対策は喫緊の課題であり、条例の制定を待つことなく、神奈川から温暖化防止に積極的に貢献するため、2008 年 1 月に地域発の「地球復興」を呼びかける「クールネッサンス宣言」を行い、地球温暖化防止に向けた取組を積極的に推進しています。

#### 1 クールネッサンス宣言

地球温暖化問題は、加害者と被害者が明確に分かれていた、かつての公害問題とは異なり、私たち人間が便利で快適な生活を求め、石油や石炭などを大量に消費し、二酸化炭素など、地球を暖める効果のある気体（温室効果ガス）を大気中に大量に排出したことによってもたらされています。

私たち一人ひとりが、この問題の深刻さに気づき、職場で、家庭で、あるいは学校で、自分たちのビジネススタイルや生活スタイルを変えていく必要があります。

「クールネッサンス宣言」は、一人ひとりが「地球市民」として、「意識改革」を行い、「行動変革」を導き出し、自らの問題として、主体的に行動することにより、地球温暖化防止に貢献し、神奈川から「地球復興」の大きなうねりを呼び起こそうとするものです。

なお、「クールネッサンス」とは、涼しい、すてきなという意味の「クール（cool）」と、復興・復活という意味の「ルネッサンス（renaissance）」を併せ、「熱いハートで、地球を冷やそう」という気持ちを表しています。



神奈川からCO<sub>2</sub>削減を呼びかけ「クール」な地球を取り戻そう！という、地域から「地球復興」を目指す「クールネッサンス宣言」ロゴマーク

## 2 リーディング・プロジェクト

「クールネッサンス宣言」を具体化するため、幅広い温暖化対策の中から、県民の皆さんにわかりやすくインパクトのある取組をリーディング・プロジェクトとして位置づけ、県として率先実行するとともに、県民の皆さん一人ひとりに具体的な取組として呼びかけています。

- 県庁エコ化プロジェクト…まず県庁から率先実行
- 県有施設エコ化プロジェクト…多くの人利用する施設への太陽光発電システムの設置等
- 電気自動車（EV）普及推進プロジェクト…2014年度までに県内3,000台のEVの普及
- 新エネルギー・EV関連産業集積プロジェクト…インベスト神奈川による脱温暖化に貢献する産業の集積促進等
- 太陽光発電普及拡大プロジェクト…太陽光発電を導入する個人に対する支援制度の創設
- 神奈川独自の炭素税等プロジェクト…炭素税等についての検討
- 神奈川“NO”レジ袋プロジェクト…マイバッグの使用奨励、レジ袋使用抑制キャンペーン
- 神奈川“NO”白熱球プロジェクト…地球にやさしい明かり“電球形蛍光灯”の使用促進
- エコファイナンスプロジェクト…金融機関との連携・協力によるエコファイナンスの仕組みづくり
- クールネつながるプロジェクト…クールネッサンス宣言に賛同する県民・企業・団体等とのエコネットワークの拡大
- クールネ国際連帯キャンペーンプロジェクト…クールネッサンス宣言を世界に発信
- エコドライブ推進プロジェクト…CO<sub>2</sub>や排気ガス抑制、燃料代節約、事故防止の一石三鳥の効果が期待できるエコドライブを運送事業者等で推進
- 自転車利用環境整備プロジェクト…自転車走行空間の充実と民間との連携による電動アシスト自転車の利用促進による自転車利用環境整備

## コラム 「箱根パーク&amp;サイクル」社会実験の概要について

県では、国際観光地「箱根」の交通環境の向上を目指し、箱根町とともに地域の交通事業者、観光団体などで構成する「箱根スマイル 2000万人プロジェクト検討委員会（委員長：横浜国立大学大学院中村文彦教授）」を設置し、2006年度から様々な交通社会実験に取り組んでいます。2008年度は「箱根パーク&サイクル」社会実験として、マイカーから新たに箱根らしいデザインと機能の電動アシストサイクルに乗り換えて、観光に訪れた多くの皆様に環境にやさしい箱根観光を楽しんでいただきました。

**実施期間**

平成20年7月24日（木曜日）～11月30日（日曜日）（期間130日間）

**目的**

マイカーから電動アシストサイクルへの転換による芦ノ湖周辺の回遊性向上及び渋滞緩和の効果を把握・検証する

**貸出拠点**

4拠点5カ所で総計50台を貸し出し

1. 仙石原拠点 箱根湿生花園
2. 湖尻拠点 箱根高原ホテル、県立芦ノ湖キャンプ村
3. 箱根園拠点 箱根園（株）プリンスホテル
4. 元箱根拠点 県立恩賜箱根公園

**使用する電動アシストサイクルの特徴**

箱根らしい電動アシストサイクル

- ・ 「寄木細工」をイメージしたデザイン
- ・ 山坂の多い箱根の特性を踏まえ、「バッテリー容量が大きい」「タイヤがパンクしにくい」「フレームが軽くて強い」といった機能を装備



2008年度 箱根パーク&サイクル

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/07/1914/odo/jikken08/event1.html>

### 3 神奈川“NO”白熱球プロジェクト ～暮らしにおける意識改革、行動変革～

県では、家庭でできる身近な地球温暖化対策として、地球にやさしい明かり“電球形蛍光灯”の使用を提案しています。

#### ◆ 電球形蛍光灯は、こんなに地球にやさしい！

電球形蛍光灯は白熱電球に比べ、エネルギー効率が高く、地球温暖化の原因であるCO<sub>2</sub>排出量が少ない、地球にやさしい明かりです。

- ・ 県内の家庭で使用される白熱電球は、約 835 万個
- ・ これが全部電球形蛍光灯に替わると、1年間で約 26 万トンのCO<sub>2</sub>が削減！
- ・ これは、森林約 3,700 万本（35年生の杉の場合）が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>の量に相当！



#### ◆ 電球形蛍光灯は、こんなにお得！

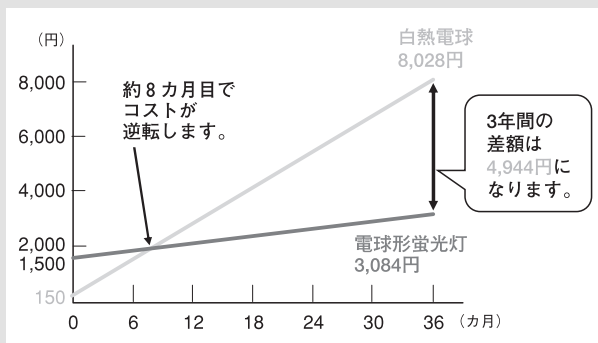
白熱電球を電球形蛍光灯に交換すると、3年間で1灯あたり

**約 4,900 円の節約** に！

54W(60型)の白熱電球と、同じ明るさに相当する12Wの電球形蛍光灯を比べると、電球形蛍光灯の寿命は白熱電球の約6倍。電気代は1/4以下。価格は高めですが、電気代は少なく、結局お得です。

**電球形  
蛍光灯** ランプ代(1,500円×1個)+電気代(0.022円×12ワット×6,000時間)  
1,500円+1,584円=3,084円

**白熱電球** ランプ代(150円×6個)+電気代(0.022円×54ワット×6,000時間)  
900円+7,128円=8,028円



資料：日本電球工業会提供資料より作成  
注：ランプ代については、(財)省エネルギーセンター「省エネ性能カタログ 2008 夏」に掲載された価格を基にしています。

## 4 クールネ国際連帯キャンペーンプロジェクト ～クールネッサンス宣言を世界に発信～

### ■ 第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)でクールネッサンス宣言を発信

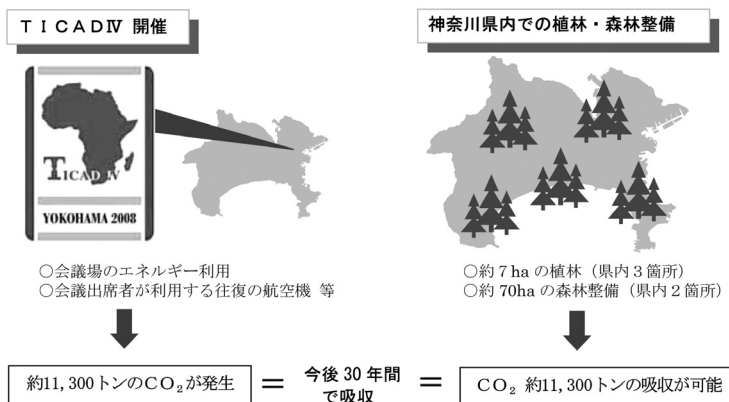
2008年、5月28日から30日の3日間、「元気なアフリカを目指して」をメッセージに掲げ、外務省と国連及び国連開発計画、アフリカのためのグローバル連合並びに世界銀行との共催により、「第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)」が横浜市で開催されました。

この「TICAD IV」開催を記念し、県では、地球温暖化防止対策の取組の一つとして、県内5カ所に「神奈川ーアフリカ開発会議の森」を整備することとしました。

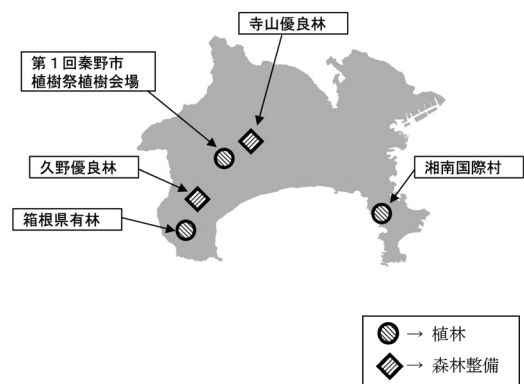
この森により、「TICAD IV」の開催に伴い発生する二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)約11,300トン(推計値)を、今後30年かけて吸収させます。

また、知事が分科会に出席し、神奈川の地球温暖化に対する取組を紹介するとともに、会場にブース出展し、参加者の皆様に「クールネッサンス宣言」をPRしました。

#### ●二酸化炭素吸収のイメージ

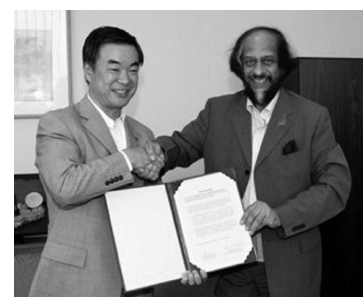


#### ●「神奈川ーアフリカ開発会議の森」箇所図



### ■ IPCC 議長パチャウリ氏と知事が地球温暖化防止に向け共同声明発表

2008年6月21日、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)議長、ラジェンドラ・パチャウリ氏と知事は、パシフィコ横浜国際会議場内で会談し、知事からは、神奈川の地球温暖化対策「クールネッサンス宣言」を説明し、電気自動車普及のための取組を紹介したことに対し、パチャウリ氏は「クールネッサンス宣言」への賛意を表明、またパチャウリ氏が推進している「Lighting a Billion Lives<sup>※</sup>」について、知事から協力を申し出るなど、地球温暖化防止に向けて、両者がともに力を合わせて取り組んでいくことで合意し、共同声明に調印しました。



地球温暖化防止に向け共同声明

※「Lighting a Billion Lives」:パチャウリ氏が所長を務めるインドの研究機関TERIが提唱している、電力が普及していない地域に太陽光発電を利用したランタンを贈ろうというキャンペーン。



「クールネッサンス宣言」

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kankyokeikaku/cool/index.html>